



# プロバスだより 第310号

2021年9月9日発行

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995年 10月 18日

2021～2022年度 テーマ

プロバスライフを「元気にたのしもう」

## 第 310 回例会 中止

8月12日に予定しておりました第310回例会は緊急事態宣言が発出されましたので、休会となりました。

### 1. 会長挨拶

#### 河合会長

8月例会は新型コロナ禍のために中止となりました。真に残念です。この夏は猛暑や長雨が続きたり、新型コロナの爆発的な感染に見舞われたりと落ち着かない日々が続いています。会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。



プロバスクラブの活動としては、7月の新年度第1回例会と定期総会を何とか開くことが出来ました。事業計画や年度予算が確定し、新年度のスタートができた事は何よりでした。

この2年度間、新型コロナへの対応としては、国の非常事態宣言下では例会の開催中止や事業の延期・縮小等の対応を取ってきました。今後とも、新型コロナの状況を注意深く見守りながら、会員の健康を第一として、会の運営に当たってゆきたいと考えます。

月1回開かれます理事会については、びおらのご協力を得て、感染対策に万全を期しながら、会の運営に支障のない様図って参りたいと考えております。どうか会員各位には健康管理に十二分に配慮して頂き、安心して集まれる機会を待ちたいと思います。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第310回の例会は中止となりましたので、理事会での審議内容を掲載しました。情報委員会

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 2. 理事会での審議内容

### (1) 幹事報告

#### 山口幹事

幹事からの報告は次の通りです。



#### ① 例会の中止

コロナ禍が若干収まって来たかの感もあった7月に船出した26期の活動は日本閣にて定期総会・例会を開催し順調な滑り出しのように見えました。しかしながら、その後変異型のウイルスは益々強く大変な感染者の増加となっています。

さて、8月5日(木)理事会において例会開催の可否について議論を行ったところ、(1)非常事態宣言下にあること、(2)最近の爆発的な感染状況の広がりから開催出来る環境にないこと等、これまでの事例にも鑑み全員一致にて中止を決定した次第です。

#### ② 組織改編に向けた今後の進め方

理事会内に小委員会を設置。議論した結果を理事会にフィードバックし、情報を共有すると言った方法で進めることが承認されました。

小委員会の構成メンバーは以下の通りです。  
会長・副会長・幹事・情報委員長・地域奉仕委員長・交流担当の6名とする。

節目で例会にて報告する予定です。

#### ③ 会員の休会

宮崎浩平会員より休会届の申請がありました。この結果、活動会員50名、休会会員2名の人員構成となりました。

## (2) 各委員会からの報告

### ① 例会委員会

#### 齊藤委員長

例会中止のためバースデーカードは郵送としました。8月生れの会員は次の方々です。



宮崎浩平会員



竹内賢治会員



久野久夫会員

## ② 情報委員会

### 内山委員長

新年度の編成により、編集態勢が整いましたので、ホームページを含めて情報、広報活動を進める。

ホームページへのアクセス回数も増え、7 月には 500 件を越えた。

## ③ 研修委員会

### 飯田委員長

特別例会を 11 月 11 日（木）日本閣にて開催予定。講演内容は「桑都物語」などを計画中。会員出典による写真、絵画、陶芸等「私のお宝展」も企画中である。

## ④ 地域奉仕委員会

### 馬場委員長

生涯学習サロンは従来の規模・日程などを縮小した形での開催を計画している。

## ⑤ 交流担当

### 一瀬理事

「東京八王子 2022」の諸準備を進めている。

## ⑥ 宇宙の学校

### 下山 PJ リーダー

コロナ禍もあり現時点での報告事項は特にないが、次年度に向けての様々な検討を行っている。

## 訃 報

澤渡進氏が去る 7 月 4 日に逝去されました。澤渡氏は第 15 期の幹事を務められるなどクラブの発展に尽力されました。謹んでご冥福をお祈り致します。



## 追悼 友情の記

### 杉山 友一



第 15 代会長の私をクラブ幹事として支えてくれた澤渡進氏が、去る 7 月 4 日黄泉の世界に旅立たれた。氏は、ときに病を得て平成 29 年にクラブを退会され、その後は悩ましい幾つかの病名を相手に専ら自宅で治療に専念されてきた。この間、医療に通じた久野会員が何くれとなく氏の相談にのってこられたことはよく承知している。旅立ちの後、早速にご長男から仔細の知らせを頂き、過日は改めて奥様から、コロナ禍の最中でもあり親族にて葬儀、七七忌を無事済ませた旨丁寧なお手紙を頂いた。奥様によれば、氏は特にここ 2 年間、医師の見解を淡々と受容し、プロバス活動も思い出の一節として、ご家族との穏やかで十分な語らいの時を経て、最後はそよ風のように旅立っていったとのことである。氏の常日頃からの口癖として、昭和人として、この国を愛し、日本人としての誇りを胸に歩み来た八十路越えの人生、それはあたかも厳格な古武士の最後を彷彿とさせる人格者だった。

プロバスクラブでは、私が JAXA の的川博士とご縁から、八王子でも是非「宇宙の学校」の開校をとの要請を受けた折、澤渡幹事を核にして、下山会員や吉田会員に先頭を切って頂いたことが今日の事業の発展に繋がっている。また、クラブの初代会長大野聖二氏が手掛けた同好会「歴史を肴に語ろう会」を引き継ぎ、同好の士を更に増やしてクラブ活動の幅を広げてくれたのも氏の尽力によるところだった。マイクロバスで旧跡を訪ね歩いて温故知新、帰路には楽しい道草懇親会と楽しかった思い出は多い。更には、生涯学習サロン活動では、実業人 OB として、ご出身の「味の素」の工場見学を計画実行して頂いたことなどが懐かしく思い出される。

老いを認め、人生を肯い、今を踏みしめて日々を歩む、最後まで生きる喜びを語り、生き抜く勇気を貰った氏、退会されてからも、プロバスクラブの歩みに最後まで思いを寄せた氏に感謝の大拍手を送りたいと思う。衷心より哀悼の意を込めて友情の記としたい。合掌

## 縄文土器のかけら

池田ときえ

ここ 20 年程、趣味で縄文土器の絵を描いてきました。それを知った友人知人が土器のかけらをプレゼントしてくれるようになりました。土器のかけら、そんなものどこにあるの、と思うでしょう。

私の手に入るまでの経緯をいくつかご紹介します。

## その1 かつての考古少年たち

東日本は縄文文化の栄えたところ。ここ八王子近辺も遺跡がたくさんあって、地下1メートル弱のところに住居跡や遺物が埋まっているそうです。現在の地表は道路や建物で覆われていますが、農地であった頃は耕すたびに土器のかけらや石鏃が出土したと聞いています。

農作業にとって邪魔ものでしかないそれらは畑の隅に捨てられていたような。原型を留めていたものも打ち割られたようです。大正から昭和にかけての考古学ブームの中、大人も子供もそんな土器のかけらや石器を拾い集めていたようです。年経って、そんな昔の宝物が私のところへ来たのです。このあたりの土器ですから、おおかたは勝坂式と思われる。

昭和30年代に法律ができてからは出土品の私蔵は禁じられましたが、それまでは掘ったもん勝ちで、みなさん自宅で大事にコレクションしていたようです。6月のプロバスだよりに載っていた橋本鋼二さんの土器のかけらも多分その頃のものでしょう。

## その2 インターネットのサイトで売ってます

たとえば楽天のサイトに「縄文土器の通販」なるものがあって、折々に真贋定かならぬ出品が見られます。以前やはり縄文好きの友人が、土器のかけらダンボールひと箱3千円を見つけて購入、持ってきてくれました。かけらの偽造をすとも思えず、その1の系統で多分本物なのだと思います。大小さまざま、紋様のあるもの無いものが30個程入っていました。焼かれた土地によって薄い茶、濃い茶、灰色といろいろです。手に取って眺めていると思いは遠く4千年、5千年前へ。

## その3 骨董市の出物

骨董商の友人がいます。古伊万里、それも蛸唐草専

門という知る人ぞ知る人物ですが、私の趣味を知っていて、出物があったよと2回程送ってくれました。完品ではありませんが、市場に出るだけあってかなり大きめの口縁部分や胴の一部です。土器というと、どなたも完成品を思い浮かべますが、このかけらというものも趣きがあり、想像力を刺激するので私は気に入っています。

## その4 古美術店の販売

15年前のことでしょうか。銀座1丁目の古美術専門店の案内に「縄文土器の展示・即売」とありました。即売！そんなことあるの、とびっくり。さっそく覗いてきました。

晩期の亀ヶ岡式を中心に、中期の大小の土器が確かに展示されています。高さ20センチくらいの小ぶりの土器が20万円、甕棺らしき大型が100万円とあります。可愛らしい20万円に心が動きましたが、貧乏サラリーマンの妻なれば自制。店主の話では、昭和30年代以前の発掘で、所有者が亡くなったので遺族が手放したものとかな。こうして世に出てくる逸品もあるのでしょうか。

店内の床に大小の土器のかけらがたくさん置いてありました。見に来たお客さんにサービスでくださるとのこと、込み入った紋様のかけらを二ついただきました。はるばる行ってよかった！

## それから

集まったかけらを組み合わせて作品を何枚も描きました。ひととおり眺めて楽しんでまたダンボールの箱へ。そして数年。人目に触れないままではもったいないと思い教室でお分けすることにしたのです。ほしい人はおひとつどうぞ。みなさんじっくりと品定め、大きいものからお持ち帰りです。最後に小さなかけらが49個残りました。

いつの頃からか門扉の足元のコンクリートがはがれてきました。築50余年、家も人も少しずつ傷んで



きます。修理をお願いした左官屋さんに提案してみました。「このかけらを埋め込んでもらえますか」「やあ、縄文の土器ですね。私も子供の頃に伊那で拾って歩いたものです」うれしいことに同好の士でありました。

おかげでかなり芸術的な仕上がりになりました。ちょっとデコボコしていますが、出入りのたびに愛しのかけらを踏みしめています。わが家へお出かけの折にはぜひご覧ください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### にっぽんの芸能 能の世界

先日、NHKの「にっぽんの芸能」という放送番組で能の世界が取り上げられ放映されました。ご覧になった方もおられると思います。能の五番立の演目が主題でした。

現在、能楽のシテ方には五つの流儀があります。観世流、金春流、宝生流、金剛流、喜多流です。このうち喜多流以外の四流は能が大成される以前からあった申楽座の一つである大和申楽四座の名残です。喜多流は、新しく江戸時代初期に創立が公認された流儀で四百年以上の歴史があります。

五番立とは、この流派が出演する催しをいい、式能とも呼ばれ、江戸時代の能楽の正式な演じ方とされてきました。「翁」という演目を冒頭に、能五曲、その間に狂言を入れる「翁付五番立」は一日がかりとなりますので、この編成での上演は殆ど行われておりません。

今回放送されたのは、神、男、女、狂、鬼で、それぞれの主な場面でした。

神、男、女、狂、鬼は能の五分類にあたるもので、＜神＞は神能にあたり祝福や祝言をテーマにし「高砂」を、＜男＞は修羅物で勇壯、悲壯をテーマにし「実盛」を、＜女＞は鬘物で優美、幽玄をテーマにした「羽衣」を、＜狂＞は雑能で物狂い、人情をテーマにし「葵上」を、「鬼」は切能として、異次元、懲悪をテーマに賑やかに締めるといふもので「大江山」を選んでおりました。

各演目とも、上演時間は一時間を越えますので、実際に鑑賞したものとは若干状況が異なっております。いわばダイジェスト版ですからやむを得ないと感じました。

(M. U)

### 私の一句〈八月の句会から〉

河合 和郎

コロナの大流行によりまたまた紙上句会に。集まったの懇談がないと面白味は半減する。顔を合わせて会話することの大切さを改めて思う。

### 足許を蟻の行列大天狗

田中 信昭

小さな蟻と大天狗との取り合わせが絶妙。天狗はさぞかし足先がこそばゆかったに違いない。

### 孫健やか揃ひの衣でお棚経

下山 邦夫

孫がお揃いのよそ行きで盆行事に参列している。これもご先祖様が取り持つ縁なのである。

### 向日葵の迷路ゴッホの黄に染まる

飯田富美子

向日葵と言えばゴッホの名画だが、向日葵の迷路とゴッホを結びつけた発想はお見事。

### 健気なるスケボーの金夏の快

馬場 征彦

十二歳と十九歳の少女がスケードボードでそれぞれ金メダルを獲得した。真夏の快挙である。

### 風呂あがり団扇であおぐ昭和風

野口 浩平

ステテコおじさんの登場。昭和の良き時代を彷彿とさせる一景。昭和風が何とも懐かしい措辞。

### 夏ばてや経年劣化の卒寿なる

東山 榮

人が歳を取るのは肉体の経年劣化なのだ。との発想が素晴らしい。作者の頭脳に劣化はない。

### ひめゆりも健児も逝きし島の夏

矢島 一雄

若くして戦場に散った沖縄の少年少女。しかし沖縄は今なお基地の島として重い負担を負っている。

### 健やかな日々もありしを遠花火

池田ときえ

過ぎし日の思い出に浸りつつ遠花火を見る作者。健やかな日々は花火のように儚い一瞬でもあった。

### 八月や忘れてならぬ歴史あり

河合 和郎

8月15日は終戦記念日。早や76年の歳月が流れた。決して忘れてはならない悲劇の歴史である。

### 編集後記

コロナ禍で例会を開催することが難しくなっております。寄稿文も手持ちが少なくなり、今号は4頁だてとなりました。内山雅之

